

第4部 快適環境の現況と対策

第1章 自然景観

第1節 自然景観資源

本県には、日南海岸や日豊海岸に代表される海岸景観、九州山地に係わる山地景観など、多様なすぐれた景観が多数分布しています。

本県の自然景観資源は40種354か所にのぼり、全国15,468か所の2.3%を占めています。内容をみると、陸景として、火山景観が7種43か所、山地（非火山性）景観が5種31か所、石灰岩景観が1種7か所などがあり、また、水景としては、海岸景観が14種132か所、河川景観が7種127か所、湖沼景観が2種9か所などがあります。

第2節 巨樹・巨木林

巨樹・巨木林は地域のシンボルとして、また良好な景観の形成のために重要な役割を果たしています。

本県は温暖多雨な気候、九州山地に連なる地形などの関係から巨樹・巨木林の本数は3,856本ののぼります。樹種は72種に及びますが、スギ（2,109本）、クスノキ（479本）、イチイガシ（129本）、タブノキ（150本）、イチヨウ（73本）などが多くなっています。

市町村別では、日南市が1,358本と最も多く、次いで宮崎市312本、延岡市245本、高原町213本となっています。

第3節 名水

1 昭和の名水百選

環境省が、昭和60年度に「名水百選」を発表しました。本県からは、「出^{いで}の山湧水^{やま}」と「綾川湧水群^{あやがわ}」の2つが選ばれています。

2 平成の名水百選

環境省が、水環境保全の一層の推進を図ることを目的に選定したもので、地域の生活に溶け込んでいる清澄な水や水環境のなかで、特に、地域住民等による主体的かつ持続的な水環境の保全活動が行われているものを、「昭和の名水百選」に加え、新たな名水、「平成の名水百選」として選定したものです。本県からは、「妙見神水^{みょうけんしんすい}」が選ばれています。

3 宮崎の名水

県では、平成4年度に、本県の豊かな自然に育まれた河川や湧水などの水環境の中から、特に良好なものを県民に広く紹介することにより、その保全と水質保全意識の向上を図るため、「宮崎の名水」として21件を選定し、紹介のためのガイドブック「ひむか水紀行」を発行しました。

第4節 音風景

平成8年度に環境庁が行った、残したい“日本の音風景100選”事業は、環境計画の趣旨を踏まえ、本県からは「えびの高原^{こうげん}の野生鹿^{やせいじか}」と「三之宮峡^{さんのみやきょう}の櫓^{やぐら}の轟^{とどろ}」の2つの音風景が選ばれています。

第5節 かおり風景

平成13年度に環境省は、豊かなかおりとその源となる自然や文化・生活を一体として将来に残し、伝えていくため“かおり風景”として100地点を選定しました。

本県からは「五ヶ瀬川の鮎焼き」が選ばれています。